

飛鳥山の渋沢邸

現在の東京都北区にある飛鳥山公園の敷地には、かつて渋沢栄一が住んでいました。栄一は、明治10(1877)年、飛鳥山の地に約4,000坪の土地を購入して、同12(1879)年から別荘として使用し、その後、明治34(1901)年から、栄一が亡くなる昭和6(1931)年までは本邸として過ごしました。



西洋館 玄関



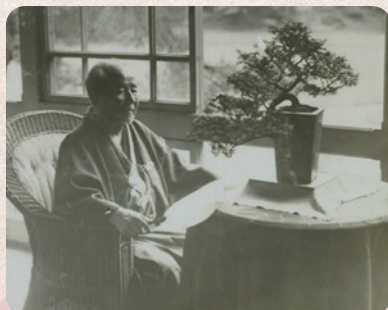
日本館 玄関



日本館 大書院



庭内



栄一 飛鳥山邸(昭和2年中)



邸内にて 飛鳥山邸(昭和2年5月30日)



邸内の散歩 飛鳥山邸(昭和2年6月3日)

「公の場」として

「公の場」として渋沢栄一の飛鳥山邸は、単なる私邸にとどまらず、多くの賓客を迎える接待の場としても利用されました。飛鳥山邸における最初の海外からの来客は、アメリカ第18代大統領を務めたグラント將軍でした。以降、栄一は飛鳥山邸に、国の内外や分野を問わず多くの賓客を迎え、重要な会議の場、また民間外交の場など、まさに「公の場」として活用しました。



グラント將軍



徳川慶光公御一家招宴 1
飛鳥山邸(昭和4年12月1日)



ベルギー財政家ルイ・ストラウス
招待午餐会記念撮影 2
飛鳥山邸(大正14年10月7日)



中華民国前国民革命軍總司令
蒋介石と栄一
飛鳥山邸(昭和2年10月26日)